

令和元年度遊佐部会が出された意見と対応の方向性

○ これまでの部会等の開催概要

「遊佐沿岸域検討部会」では、洋上風力発電の導入と漁業や観光その他産業など地域との共生の可能性や共通理解を図るために、各種調査結果報告等を踏まえ、意見交換等を行った。

「漁業協調策・漁業振興策等に関する研究会」では、近い将来予定される法定協議会等の場で発電事業者に求める漁業協調策等の材料とするとともに、行政による漁業振興策の基礎とするため、その具体的な内容に関して、漁業関係者や行政関係者、有識者らにより検討・議論を行った。

【遊佐沿岸域検討部会】

回	時期	場所	内容
第1回	令和元年 6月12日	パレス舞鶴 瑞鳳	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の取組みと今年度の進め方について ○ 各種調査等の実施について ○ 再エネ海域利用法の運用について ○ 意見交換 ○ 事業者によるプレゼンテーション（2社）【非公開】
第2回	令和元年 8月8日	パレス舞鶴 瑞鳳	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「第1回 遊佐沿岸域検討部会」の意見を踏まえた対応について ○ 海流等に係る調査結果について ○ 再エネ海域利用法における今後の促進区域の指定に向けた有望な区域等の整理状況について ○ 意見交換 ○ 事業者によるプレゼンテーション（2社）【非公開】

【漁業協調策・漁業振興策等に関する研究会】

回	時期	場所	内容
第1回	令和元年 7月9日	庄内総合支 庁水産振興 課会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山形県の取組み及び当研究会について ○ 山形県（遊佐・酒田地先）の漁業実態 ○ 「漁業協調策・漁業振興策等に関する研究会」検討の視点 ○ 意見交換
第2回	令和元年 9月3日	庄内総合支 庁水産振興 課会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回研究会における主な意見について ○ 意見交換 （共同漁業権（海共第2号）区域に関する確認、漁業協調策・振興策に関する基本的な考え方、漁業実態の把握・モニタリング・海流等、イワガキ養殖、漁業・定置網（底建網）、基金造成等について）
第3回	令和元年 10月18日	庄内総合支 庁水産振興 課会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回研究会における主な意見について ○ 第2回遊佐・酒田入会漁業者懇談会における主な意見について ○ 意見交換 （1）第2回研究会を踏まえた情報収集結果について ・キジハタの養殖、稚魚生産、放流事業について ・洋上風力発電の導入に伴う漁業振興基金について （2）当研究会による検討とりまとめ（案）について

【先進地視察・遊佐町地区別説明会】

時期	内容	内容
令和元年 9月11日 ～13日	先進地視察 長崎県五島市	<p>9/12</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意見交換 ・五島市（再生可能エネルギー推進室） ・海洋エネルギー漁業共生センター ○ 現地視察 ・福江港浮体模型 ・浮体式洋上風力発電機 ・風力メンテナンス会社（㈲イー・ウィンド） ・燃料電池船 <p>9/13</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意見交換 ・五島ふくえ漁業協同組合
令和元年 10月 ～11月	遊佐町 地区別説明会	<p>10/23 遊佐・蕨岡 10/19 西遊佐・稲川 11/5 吹浦・高瀬 各地区のまちづくりセンターで開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「洋上風力発電導入に向けた山形県の取組み」

山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議 R1 遊佐沿岸域検討部会における意見と対応の方向性

項目	意見・質問	会議内での回答	対応の方向性	備考
漁業関係	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電導入によるサケの遡上への影響等、何かあった時のフォロー体制を事前をお願いしておきたい。(第1回 尾形委員) 	⇒ サケの遡上への影響も視点に入れて研究を進めていきたい。(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> 漁業協調策・漁業振興策等に関する研究会において、サケ・アユ・サクラマスなど遡河性魚種も含め、漁業影響調査(モニタリング)のあり方を検討した。 漁獲急減等、不測の事態に対する方策を予め定めるよう事業者に求めていく。 	■資料5 「洋上風力発電に係る漁業協調策・漁業振興策等に関する対応方向の概要」参照
	<ul style="list-style-type: none"> 漁業協調策の研究・検討について、養殖ならびに魚礁の設置等が提示されているが、地元の漁業者が将来どういう漁業をしたいのか、魚礁を整備するにしても対象魚種はどんな魚で、どのような素材と構造の魚礁がマッチするか慎重に検討する必要がある。(第1回 中原委員) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 漁業協調策・漁業振興策等に関する研究会において、魚礁の設置等について検討した。 検討結果を踏まえ、対象魚種や魚礁の絞り込みに向けた情報収集・検討を行い、関係者間の合意形成を図っていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電設備の設置により、魚礁効果で設備周辺に魚がつかうことが期待されるが、酒田では漁業者よりも遊漁者の方が多く、魚が増えた時のトラブルが心配である。例えば、漁場利用を時間制限で区切ることはできないか等考えている。(第2回 長谷川委員) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 漁業協調策・漁業振興策等に関する研究会において、漁業と遊漁等との共生について検討した。 風車設置エリアに漁業と遊漁(プレジャーボート含む)との共生・共有のあり方について、県等が主体となって検討していく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> やはり洋上風力発電ということになると、生活権もある訳で、漁協や漁業者の合意のうえで実施していくことが一番大事なことだと思う。漁協や漁業者の方の意向がどうなっているのか説明してほしい。(第2回 伊藤委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で話し合いの場があれば説明に向かうので、そういった機会があれば情報をいただきたい。(伊原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 風車設置予定エリアで操業する漁業者等の意向を踏まえ、令和元年内を目途に、県漁協としての対応方向を整理していく。 	
海岸侵食	<ul style="list-style-type: none"> 海岸侵食の問題は非常に大きい。侵食の度合いが年々加速度を増していると感じている。(第2回 伊藤委員) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 遊佐部会で実施したシミュレーション結果によれば、風車設置による影響は小さい。 環境アセスメントによる評価又は実際に何らかの影響が出た場合の対応を事業者に求めていく。 現行の海岸侵食対策について効果検証を行いながら、引き続き、県庄内総合支庁河川砂防課において対策工事を実施する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 海岸侵食は大変危険な状況。侵食による塩害が発生しており国有林(砂防林)にも被害が出ている。県は縦割りではなく、横の連携で対応してほしい。(第2回 佐藤豊昭委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 遊佐町内の一番南側の比子地区で、海岸侵食の対策としてヘッドランドの整備を進めており、まずはこちらの対策を着実に進めていく。今後も機会を捉えて現場の声を聞きながら、また、測量などで現状の対策の効果を確認しながら、必要な対応を検討していく。(庄内総合支庁河川砂防課 佐藤委員) 		

山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議 R1 遊佐沿岸域検討部会における意見と対応の方向性等

項目	意見・質問	会議内での回答	対応の方向性	備考
安全 面等	・ 洋上風車が建設された際の航行ルールの徹底をお願いしたい。(第1回 五十嵐委員)	⇒ 基本的には海上衝突予防法に従って、航行をお願いしたい。(海上保安部 畑中委員)	・ 船舶航行に関する安全確保について、実効性のある対策を講じるよう国等に求めていく。	
	・ エネ庁と国交省の合同会議において、航行ルールに関して、中央レベルで全国一律のルールを検討し、セーフティゾーンのような形で風車からの一定の距離を数字で示すべきではないかと提言した。(第1回 中原委員)	—		
港湾 関係	・ 再エネ海域利用法における促進区域の指定基準の中に、港湾との一体的な利用という記載があるが、遊佐沖を促進区域とした場合、その区域の港湾というのは、どの港が該当するのか。(第1回 西村委員)	⇒ 港湾については国交省が所管のため、現状で、どの港湾かという具体的な情報を持ち合わせていない。基本的な考え方としては、国交省が持つ港湾に関する情報を基に、建設する際に使う港、維持管理のために使う港を検討していくことが想定される。(資源エネルギー庁)	・ 県において、港湾担当部局や漁港担当部局と連携しながら、港の活性化につながるよう、国や事業者に対し、県内の港湾・漁港を最大限活用するよう求めていく。	
	・ 山形県の沖合であっても、新潟県や秋田県の港が該当し得るのか。遊佐町には吹浦に漁港があるが、そのような漁港でも該当し得るのか。(第1回 西村委員)	⇒ 建設のための港はある程度の規模が必要だが、維持管理のための港に必要な規模は異なると聞いている。県内に限らず、県外の港も該当し得ると聞いている。(資源エネルギー庁)		
観光	・ 洋上風車の設置は観光にとってほとんどマイナスのイメージでプラスのイメージはない。ただ、洋上風車ができることで魚が増え、美味しいものが増えれば、観光にも活かせる部分が出てくる。 洋上風車を活かして、色んなものをプラスの方向に持っていければよいのではないかと。(第2回 庄司委員)	—	・ 洋上風力の観光振興面への利活用については、先進事例や他地域の取組みも参考に、地域振興策や産業振興策の検討と併せて、関係者による議論・検討を行っていく。	
その他	・ 遊佐町内地区別説明会を第3回遊佐部会前に開催してほしい。町民意見をまとめ、全体会に報告して欲しい。(第1回 畠中委員)	—	・ 地区別説明会については、町の意向も踏まえて、10月下旬から11月上旬の3日間で、町内6地区(藤岡、遊佐、稲川、西遊佐、高瀬、吹浦)で開催した。(⇒ 地域住民が合計90名参加)	■資料6-1 「住民説明会の結果(概要)」参照
	・ 長崎県五島市視察について、昨年実施済みであり、また、五島市の計画は浮体式洋上風力であることから、遊佐沖と同じ着床式で計画している地域(千葉県銚子)を検討してはどうか。(第1回 中原委員)	—	・ 9月11日から13日の日程で、洋上風力と地域・産業・漁業などの一体的な取組みを進めている長崎県五島市を視察。 ・ 今年度は遊佐地区に加え酒田地区の漁業者の理解促進を主眼に実施。昨年度と視察者を入れ替え、部会委員以外の漁業者にも参加していただいた。 ・ 漁業協調や地域産業の振興といった観点で様々な示唆・提言があり、漁業者等の理解促進に繋がった。	■資料4 「先進地視察結果報告」参照